

令和5年度事業計画

東日本大震災及び東京電力（株）福島第一原子力発電所事故から間もなく12年を迎えようとしている。

そうした中、原子力科学館においては、展示物のリニューアル工事が着実に進捗し、一昨年の第二期「ラジエーションボックス」（世界最大級の霧箱等）の整備に続き、線量計測や体験アイテムを通して身近な放射線や元素について学べるコーナーが令和5年3月上旬に公開される。

令和5年度に実施する第四期工事（テックストリート）では、人体模型を用いたCT検査の体験や、タッチモニターを用いたインタラクティブ体験などを通して、放射線・原子力利用技術の発展性や有効性を伝えるコーナーの整備を進めていく。工事については、来館者の安全を確保しつつ計画に則り進め、リニューアルの完遂を目指すこととする。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を見据えながら、ウィズコロナの新たな状況に対応し、引き続き県民のニーズに応え、放射線や原子力の正しい知識の普及・啓発事業についても行うとともに、リニューアルにより新たに整備された設備などの成果を最大限活用し、「魅力ある原子力科学館」を目指して、科学実験教室、イベント等を近隣の科学館とも連携して開催し、より多くの方にご来館いただけるよう努める。

併せて、コロナ禍を経て変化した社会情勢を踏まえ、IT技術等を活用した事業の在り方の検討についても、継続的に取り組んでいく。

さらに、令和2年度を初年度とする「中期計画」に基づき、計画された事業の着実な推進に努めるとともに、これまでにいただいた来館者の声を反映しながら、企画内容の充実を図り、来館者並びにイベント参加者が満足していただけるよう活動を進めていく。

I 展示館事業

1 原子力科学館 展示物等のリニューアル計画

令和5年度の科学館展示物等のリニューアルについては、リニューアル基本構想（5ヶ年計画）に基づく詳細設計に従い、第四期工事として「テックストリート -人と放射線・原子力の利用-」の整備を行うこととし、それに伴う所轄省庁への諸手続きを確実に実施する。

また、整備に際しては、リニューアル推進委員会の外部有識者等の助言を頂きながら、安全第一を最優先に工事を行う。工事は、来館者の安全や来館者数に影響の少ない冬季の休館日を中心に実施し、工事の進捗状況を随時ホームページ上で公開する。

なお、既存の展示物等については、詳細設計に沿って展示スペースを調整の上、統一感のある展示とするとともに、リニューアル完了までの期間中、正常な状態を維持するよう点検整備を継続して実施する。

さらに、第五期工事として、令和6年度の国への概算要求を着実にを行うこととする。

2 原子力科学館の常設展示及び企画展示等

(1) 常設展示

	展示名	開催時期	内 容
①	常設展示	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の科学や放射線の基礎、原子力と放射線の利用及び原子力の安全に関する展示 ・ガイダンスシアター「アトミックトラベル -原子の力- ・ラジエーションボックス -放射線の正体- (世界最大級の霧箱等) ・ネイチャータウン -自然界の放射線-
②	放射線利用展	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、工業、農業など広範な分野で利用されている放射線について、実物照射製品、医療施設等の模型、パネルを展示
③	J-PARCの概要	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・大強度陽子加速器施設 (J-PARC) について、パネル及び模型を展示
④	福島第一原発事故展示	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の収束に向けた道筋に関する東京電力資料をパネルで展示
⑤	JCO臨界事故模型	通年	<p>【経済産業省からの受託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCO臨界事故について、装置の模型、映像、パネルを展示
⑥	東海第二原子力発電所の安全対策に係る展示	通年	<p>【日本原子力発電(株)からの受託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海第二原子力発電所における、福島第一原発事故以降の安全対策に係るパネル等を展示
⑦	梶田教授のノーベル物理学賞受賞記念展示	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・梶田教授のノーベル物理学受賞及びJ-PARCとスーパーカミオカンデを繋ぐT2K実験の解説パネルを展示

(注) 既存の常設展示物については、リニューアル計画に基づく工事の進捗に従い、移設、流用、保管及び撤去等を行う。

(2) 企画展示及び関連講演会

	展示名・講演会名	開催時期	内 容
①	かるたでよみとく わたしと世界のつながり	4/18~6/18	私たちの暮らしと、地球の資源や生態系、さまざまな人々の関わりについて、「かるた」の絵札と読札形式のパネルで、楽しくわかりやすく紹介する展示
	講演会「SDGs と私たちの暮らしの関わりを考えよう」(仮)	6月	
②	こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版	10/31~1/8	小惑星探査機「はやぶさ2」のミッションを漫画でゆるりと紹介。 「はやぶさ2」の解説パネルも展示

	講演会 「冬の星座と惑星のおはなし&星空観望会」(仮)	12/17	講師：茨城県立土浦第三高等学校 岡村 典夫 氏
③	「日本の宇宙科学の歴史」	1/30～3/17	日本の宇宙科学技術の躍進を支えた関係者の情熱とひたむきな努力や、今現在も続けられている宇宙へのあくなき挑戦について紹介
	講演会「日本の宇宙観測の歴史と未来」(仮)	3月	講師：茨城大学理工学研究科理学部 百瀬 宗武 氏

(注) 全国科学館連携協議会との共催による企画展

(3) 貸しギャラリー

	展示名	開催時期	内 容
①	第 35 回アートロード展	3/28～4/16	・東海村に居住又は勤務する、文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品(絵画・写真・書)を展示

(注) 企画展示以外の期間について、展示随時募集

3 原子力科学館イベント

	イベント名	開催時期	内 容
(1)	ゴールデンウィークイベント	5/3～5/5	・実験、工作教室ほか
(2)	夏休みイベント	7/29～8/27	・紙ダイナソー(自分で塗った恐竜が動き出す)
		7/15～8/31	・アインシュタイン博士の謎解き挑戦状(子供)
		8月(4日間)	・自然放射線測定体験
(3)	クリスマスイベント	12月	・実験、工作教室ほか
(4)	親子星空観望会	8月～2月	・惑星や星座の観望

4 近隣科学館及び事業所等との連携

- (1) 実験・工作教室等
- (2) 夏休みスタンプラリー、2館及び3館スタンプチャレンジ
- (3) 原子力広報機関連絡会の開催(第35回)
毎年1回5機関事務局持回りで開催、各機関との意見交換

5 原子力科学館の運営管理

- (1) 原子力科学館における新型コロナウイルスの感染拡大防止対策
 - ① 職員のマスク着用、出勤前の体温測定の徹底及び来館者へのマスク着用をお願い
 - ② 施設出入口及び館内にアルコール消毒液を設置(本館5ヶ所、別館1ヶ所)
 - ③ 案内カウンター及びイベントでの机上に飛沫防止用の透明アクリル板等を設置
 - ④ 非常扉等を開放しての換気強化及びイベント参加人数の制限

- ⑤ 多くのお客様が触れられる展示物、手摺等は、定期的に消毒
また、抗ウイルス・抗菌性軟質フィルムを貼付
 - ⑥ いばらきアマビエちゃん事業者登録
 - ⑦ 入口付近に非接触式検知器を設置し、来館者の体温を測定
- (2) 原子力科学館ホームページの管理
SNS を活用した情報発信の充実等
- (3) 展示施設の維持管理
- ① 地震時避難誘導訓練（原則毎月）
 - ② 火災時の通報訓練、消火訓練（1回/年）
 - ③ 普通救命講習会(1回/年)
 - ④ 2階倉庫窓の防火対策
防火窓への交換
- (4) 原子力科学館への誘客広報
- ① 県内各小中学校に対し、原子力科学館を校外学習の場として利用するよう働きかけ
 - ② 周辺地域の公共施設、観光施設等に原子力科学館リーフレットを常時配置
 - ③ 近県の旅行代理店、茨城県内のバス事業者に原子力科学館リーフレットを送付
 - ④ 原子力科学館の年間イベントスケジュールの早期発信
 - ⑤ 県内キャンプ場・バーベキュー施設等へ周期表プレゼント付きリーフレット送付
 - ⑥ 「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」のサイクルサポートステーションへの登録

II 普及啓発事業

1 講演会、セミナー等開催事業

	事業名	実施時期	内容
(1)	サイエンス工房	4月～3月	次世代層を対象に、科学への関心・興味を喚起することを目的に実施
(2)	講演会の開催		展示館事業の企画展示及び関連講演会参照
(3)	シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」	9月～1月	アインシュタインスクール (開催場所：ひたちなか市(予定)) 第1回演題：放射線の基礎 第2回演題：原子力事故と安全・防災対策 第3回演題：放射性廃棄物と原子燃料サイクル 第4回演題：世界と日本のエネルギー問題 第5回施設見学会：日本原子力発電(株)東海第二発電所
(4)	出前原子力展示		市町村等のイベントに霧箱やパネルを展示し、放射線や原子力の基礎知識のミニ教室を開催

		8月 11月 11/23	① なかひまわりフェスティバル ② 商工感謝祭&大洗あんこう祭 ③ 東海村 I~MO のまつり
(5)	視察研修 研修会 I 研修会 II	10月 11月	① 研修 I 群馬方面(1泊2日) ② 研修 II 福島方面(日帰り)
(6)	エネルギー学習バス	6月~2月	県内の児童・生徒が原子力を含むエネルギーについて体験学習を行うため、学校等がバスを利用し、科学館の見学と実験教室を実施する際のバスの借上げ料の一部を補助する(年6回)
(7)	新春のつどいの開催	1月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・会場 : 水戸プラザホテル(予定) ・参加人数 : 約350名(予定) ・出席者 : 国会議員、県知事、県議、市町村長、正会員、賛助会員他(予定) ・出展ブース : 県西7市3町及び会員企業(予定)、(公社)茨城原子力協議会

2 調査・分析、資料収集・提供事業

(1) 広報紙「かがやき」の発行

発行回数	4回/年
発行部数	10,000部(2,500×4回)
主な内容	<p>第88号(7月発行予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度定時総会を開催、シリーズ「日本における原子力の平和利用(仮)」、GWイベント報告、市町村夏のイベント情報、展示館イベント情報他 <p>第89号(9月発行予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み原子力科学館イベント報告、シリーズ「日本における原子力の平和利用(仮)」、市町村秋のイベント情報、展示館イベント情報他 <p>第90号(12月発行予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力協議会イベント出展報告、シリーズ「日本における原子力の平和利用(仮)」、市町村冬のイベント情報、展示館イベント情報他 <p>第91号(3月発行予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年新春のつどいを開催、シリーズ「日本における原子力の平和利用(仮)」、市町村春のイベント情報、展示館イベント情報他

※令和5年度も、原子力協議会ホームページに掲載し、適時に情報提供を図る。

III 役員等に関する事項

	日程	審議事項
第1回理事会	5月下旬	令和4年度事業報告及び収支決算、定時総会の開催について(予定)

定時総会	6月下旬	令和4年度事業報告及び収支決算、理事の選任、監事の選任について（予定）
第2回理事会	定時総会終了後	会長、副会長、常務理事の選定について（予定）
第3回理事会	11月下旬	令和5年度収支予算の補正(案)等について（予定）
第4回理事会	2月下旬	令和5年度事業報告、収支予算の補正及び収支決算見込み、令和6年度事業計画及び収支予算等について（予定）

IV 組織体制等に関する事項

1 財務体質の強化

ここ数年にわたり会員の退会等が続き、さらに施設・設備の老朽化に伴う修繕費の増加に伴い、財務状況はなお一層厳しさを増している。

令和5年度も引き続き、新規会員の獲得、会費の増額、資金の有効活用のため客観的な評価に基づく事業のスクラップアンドビルドを図るほか、経費の削減や新規事業の獲得を図る。

2 事業力の強化

新型コロナウイルス感染拡大の影響を見据えながら、ウィズコロナの新たな状況にも対応し、引き続き茨城県全域において、普及啓発活動などの事業展開を図るとともに、国、県などの補助制度の積極的な活用、並びに県を初めとして、新たな受託事業獲得への取り組みを進める。

また、外部資金の導入による事業の推進を図ることにより、事業力強化に努める。

3 組織体制

数少ない人的資源を有効に活用するため、外部研修等を通じて職員の意識改革とスキルアップを図るとともに、「顧客第一」の徹底を図る。

V ポストコロナへ向かう状況下における事業の検討

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、各種イベントの開催、県・市町村からの受託業務並びに近隣市町村の産業祭等への参加に積極的に取り組む。また、コロナ禍を経て、変化した社会情勢を踏まえ、令和2年度に設置したIT化推進ワーキンググループを引き続き運営し、ITの活用による事務事業の推進について継続して検討を行う。